

## 身近なところからはじめよう心のバリアフリー

バリアは体の不自由だけでなく、体格の差や言語の違いによっても生じるものです。車いすや聴覚障害の方だけでなく、困っている人を見かけたら声をかけてあげましょう。お互いが相手のことを思いやる気持ちを持つことが、心のバリアフリーにつながります。



### 車いす利用者へのサポート

車いすの外出には階段や溝などバリアがたくさんあります。また、車いすの方は目線が低いため、高いところが見づらかったり、手が届かないことがあります。車いすの方をサポートするときは、同じ目線の高さになって、どのようにサポートして欲しいかを聞いてください。一人でサポートすることが難しい場合は周囲の人に協力を求めましょう。



### 耳の不自由な方へのサポート

耳が不自由な場合、駅の案内放送や車内放送などが聞こえない、または聞こえにくいいため、事故などの緊急時には不安を感じます。困っている方には、筆談や簡単な手話でサポートしましょう。また、道路では背後から近づく車両の存在に気付きにくく、運転手からも、歩行者が耳の不自由な方とはわからないため、運転手も、もしかしたらという心構えで、十分に注意することが大切です。

### 精神障害の方へのサポート

精神障害には様々な症状があり、また個人によっても症状や重度は様々です。どんなことに困っているのか、何をしたいのか、サポートする側も落ち着いて、十分に理解できる余裕をもって対応しましょう。

### お年寄りへのサポート

高齢になるにつれて筋力・視力・聴力が低下します。サポートするときもあわてたりすると、つまずいて転倒するなど、思わぬ事故につながりかねません。ゆっくり話を聞き、ゆとりをもって対応することが大切です。

### 目の不自由な方へのサポート

困っている方がいたら、いきなり触れたり杖を引いたりせず、まず声をかけましょう。誘導を希望されたら、どのように誘導したらよいかを尋ねます。白杖を持っていない側に立ち、腕をつかんでもらうのが一般的です。また、誘導ブロックは大切な道しるべです。ブロックの上に荷物を置いたり、立ち止まったり、自転車や車を放置すると、迷惑になるので注意しましょう。



## 黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想

平成 29年 3月 発行

編集・発行 宇治市都市整備部交通政策課  
住所 〒611-8501 宇治市宇治琵琶 33 番地  
電話 (0774) 22-3141 (代)  
ファクシミリ (0774) 21-0409  
電子メール koutuseisaku@city.uji.kyoto.jp

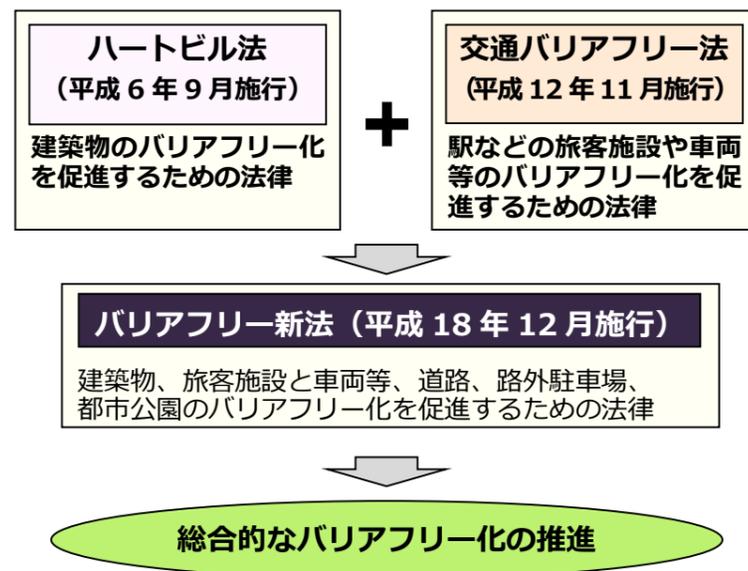


# 黄檗駅周辺地区 交通バリアフリー基本構想

## 1. バリアフリー新法と宇治市での取り組み

### ■ バリアフリー新法について

バリアフリー新法は、「ハートビル法」と「交通バリアフリー法」が統合された法律で、従来の交通バリアフリー法が対象としていた公共交通機関の旅客施設や車両、駅前広場、道路、通路、に加えて、ハートビル法が対象としていた建築物、さらに路外駐車場や都市公園についてもバリアフリー化の対象とされ、より一体的なバリアフリー化を推進するための法制度が整えられました。



### ■ 宇治市交通バリアフリー全体構想改訂

本市では、交通バリアフリー法に基づいてバリアフリー化を計画的に推進するために、平成17年に「宇治市交通バリアフリー全体構想」を策定し、当時の国の基本方針に基づき特定旅客施設である12駅を対象に市内を7地区に分類して、全市的な観点からよりバリアフリー化の必要性が高く、基本構想を策定することについて関係機関と協議が整った地区を「重点整備地区」に位置付けました。

その後、基本構想を策定した宇治駅周辺や大久保駅周辺では駅へのエレベーター設置や歩道の整備などバリアフリー化に関する整備が進められましたが、それ以外の地域では駅のバリアフリー化が進んでいないのが実情です。

また、平成18年の法改正、平成23年の国が改めた基本方針といった新たな基準に基づいて、よりいっそうバリアフリー化を進めることも必要となりました。

このような背景から、さらにバリアフリー化を推進するために、平成27年3月に全体構想を改訂し、新たに「木幡駅周辺地区」、「黄檗駅周辺地区」、「伊勢田駅周辺地区」の3地区を重点整備地区に選定し基本構想を策定することとしました。

## 2. 黄檗駅周辺地区 交通バリアフリー基本構想の目標年次

整備目標年度は、バリアフリー新法に基づく国の基本方針に則して平成32年度としますが、地域の抱える課題は多様であり、限られた期間でバリアフリー化に関する全ての課題を解決することは困難であることから、整備目標年度は原則平成32年度とするものの、関係機関等との協議状況に応じて柔軟に対応するものとし、できることから事業を進めていくものとします。

## 3. 黄檗駅周辺地区におけるバリアフリー化の基本理念と基本方針

### 黄檗駅周辺地区の基本理念と基本方針

#### <基本理念>

「すべての人が快適に活動できる  
歴史と文化が調和した“心豊かなまち 黄檗”」

#### (目標) 整備目標

- 黄檗地区で暮らす人、通勤や通学で日常的にまちに来る人、歴史遺産である萬福寺などを訪れる観光客などすべての人が、安心してまちを移動したり、施設を利用したりできる“心豊かなまち 黄檗”をめざします。

#### <基本方針>

1. 多くの人が利用する鉄道駅を安全かつ快適に利用できるようにするためのバリアフリー化を推進します。
2. 鉄道駅と学校、病院、歴史遺産など周辺施設を円滑に移動できるバリアフリーネットワークの整備を推進します。
3. 移動や利用に困っている人、移動に不安のある人を助け合う“心のバリアフリー”を推進します。

## 4.黄檗駅周辺地区の概要

### ■ 移動に関する現況

#### ①公共交通機関

J R奈良線と京阪宇治線が古くから南北に並走しており、J R黄檗駅と京阪黄檗駅の距離はおよそ300mと接近しています。1日当たりの利用者数（平成26年度、市統計書に基づく乗降客数）は、J R黄檗駅では7,540人、京阪黄檗駅では6,444人となっており、黄檗地域の主な交通手段となっています。またJ R黄檗駅前広場からは羽戸山を周回するバスの他、羽戸山を経由し近鉄大久保駅に行くバスも運行されており、公共交通の結節点にもなっています。

鉄道駅の整備状況では、京阪黄檗駅は一定のバリアフリー化が完成しているものの、J R黄檗駅では駅構内の移動経路上に段差が残っており、跨線橋の階段でしか反対側のホームに行くことができず、移動経路にバリアが生じています。

また、J R黄檗駅と京阪黄檗駅が近接しているため、駅舎統合を求める声があります。

#### ②道路

鉄道と並走して南北に府道京都宇治線や市道宇治五ヶ庄線があり、これら道路を軸に道路網を形成しています。市道宇治五ヶ庄線や府道京都宇治線の一部区間では、歩道の整備が進められ、歩行者への安全対策が実施されていますが、全線にわたり、歩道の整備を求める声があります。また、鉄道を跨ぐ東西の道路が狭く、歩道もないといった問題があります。

### ■ 地区内における主な課題

黄檗駅周辺地区の現状を把握するため、地域住民や障害のある方とともにタウンウォッチングを実施し、その後のワークショップにおいて、駅舎や道路等の問題点や課題を抽出しました。

#### 【タウンウォッチング概要】

実施日：平成28年5月21日（土）

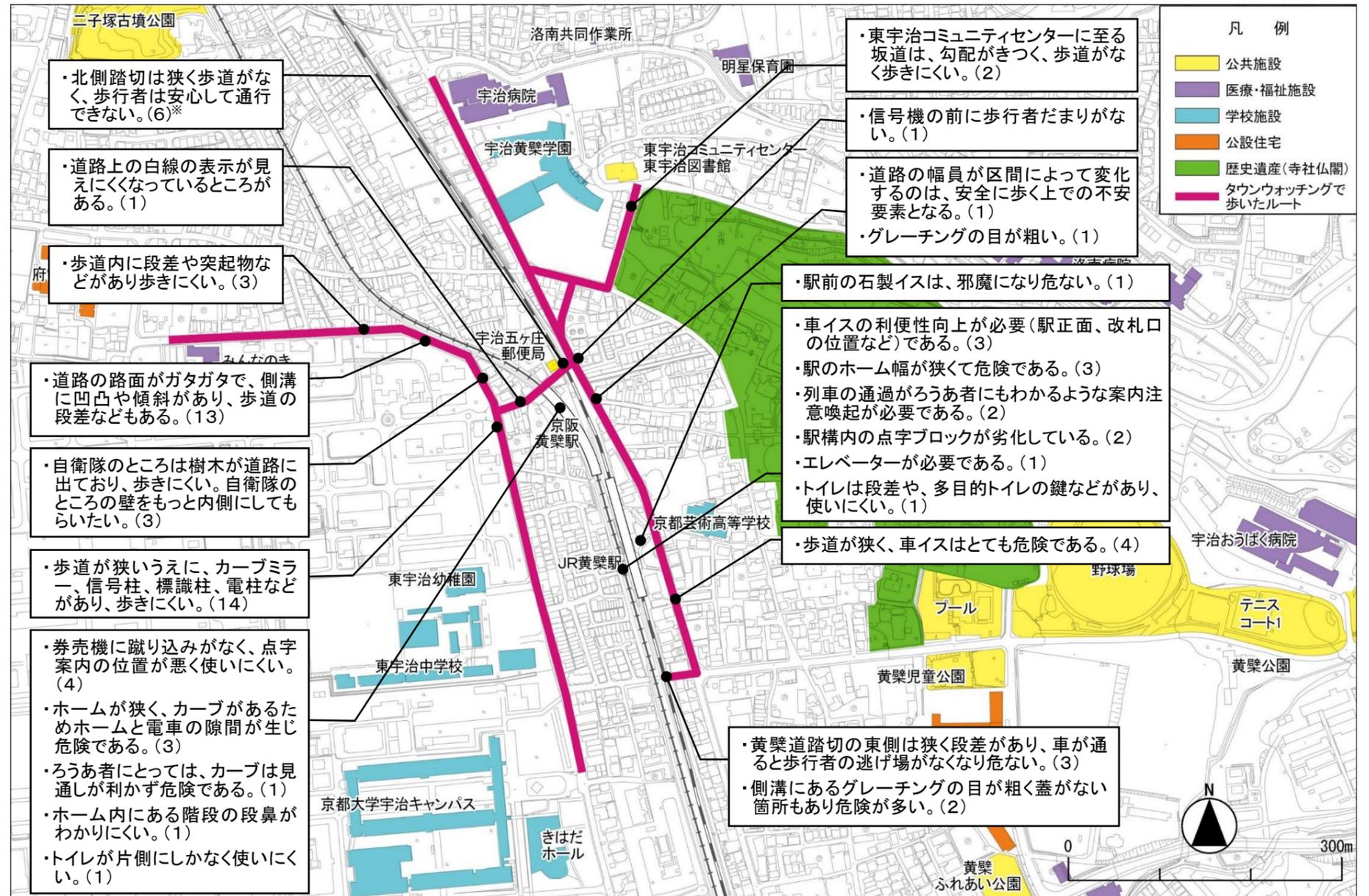
参加者：45名（宇治市交通バリアフリー検討委員会委員、施設設置管理者、地域住民、障害者協会会員、学識経験者等）



JR黄檗駅の点検状況



道路の点検状況



## 5.重点整備地区の設定とバリアフリー化事業計画

### 重点整備地区の設定

今回定める重点整備地区の区域は右図のとおりとし、区域の境界はできる限り道路や河川等でわかりやすく表示して決めました。

また、重点整備地区の要件と照らし合わせて地区の状況を整理し、要件を満たしていることを確認しました。

### 公共交通機関のバリアフリー化事業計画

○JR黄檗駅では、京都方面ホームと宇治・奈良方面ホーム間が階段のみの経路となっており、また、ホームも他の駅に比べ狭く、内方線が未設置であるなど、バリアフリー化が不十分な状況です。そのため、1つ以上の移動等円滑化経路を確保するとともに、内方線整備など、バリアフリー整備を進めます。

○京阪黄檗駅では、改札からホームまでの移動等円滑化経路が各方面ホームともに確保されているとともに、多機能トイレや内方線が整備されるなど一定のバリアフリー化は完了しています。今後は点字料金表の移設や蹴込みのある券売機の整備など、さらなるバリアフリー化の充実を目指します。

○路線バスは、JR黄檗駅前広場に停留所があり、羽戸山を経由して近鉄大久保駅や太陽ヶ丘行きバスが運行されています。このため、移動円滑化基準を満たした低床バス車両（ノンステップバス）の導入を促進するなど、バリアフリー化を推進していきます。

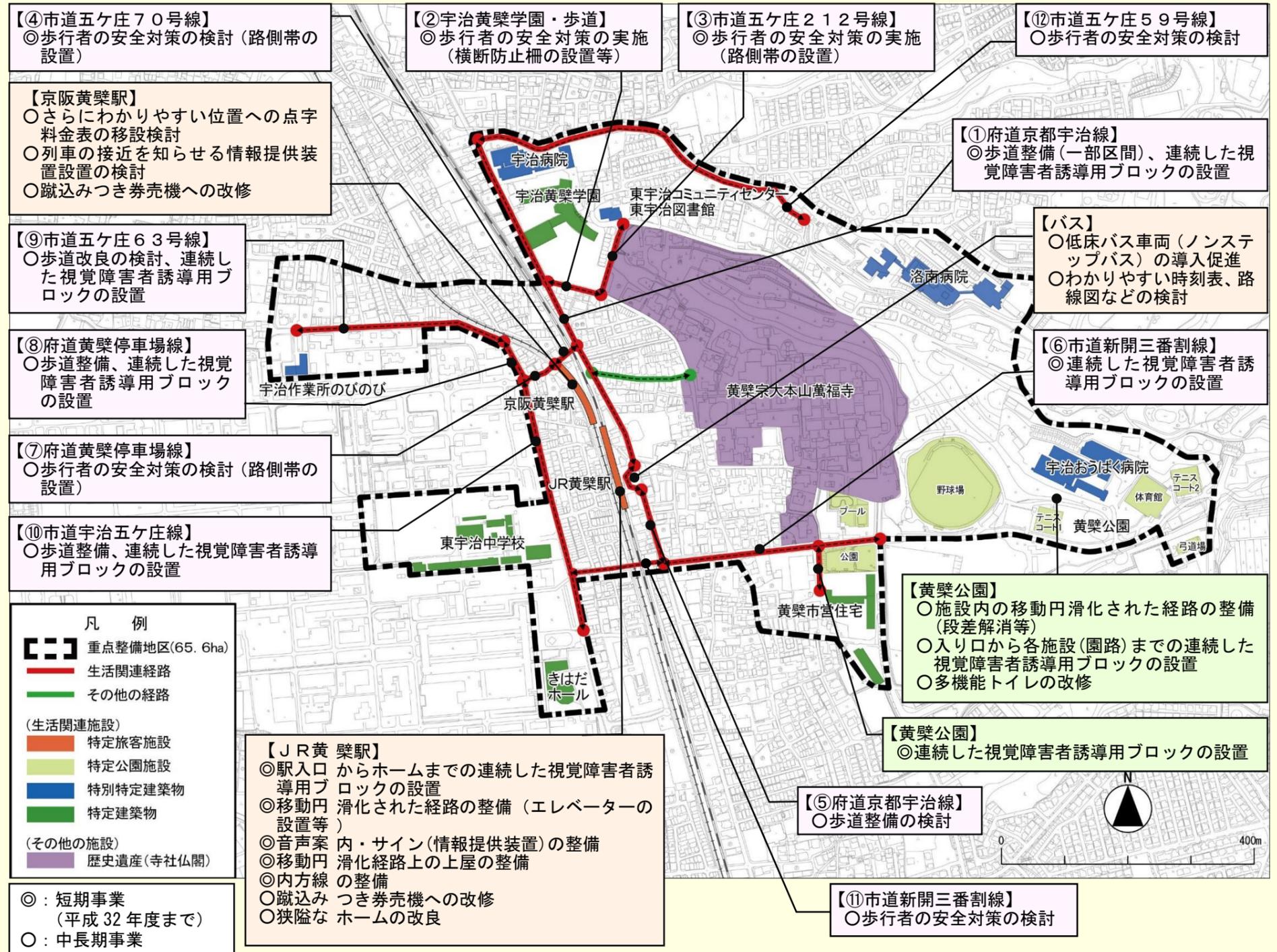
### 道路のバリアフリー化事業計画

○生活関連経路として位置付けられた府道や市道のうち、歩道の設置されている路線については、段差の改善、路面の改良、横断勾配の改善、視覚障害者誘導用ブロックの連続敷設を基本にバリアフリー化を進めます。

○歩道が未設置である路線については、路側帯のカラー化などによる歩行者の安全対策を検討します。またタウンウォッチング等で安全対策について多くの意見があった府道京都宇治線については、現在行われている府道京都宇治線道路改良事業の進捗状況等をかんがみながら、歩道整備の検討を進めます。また、同じく安全対策について意見が多かった府道黄檗停車場線、市道宇治五ヶ庄線についても、引き続き歩道整備について検討を進めます。

### 公園等のバリアフリー化事業計画

○特定公園施設に位置付けられた黄檗公園については、段差の改善、路面の改良、横断勾配の改善、視覚障害者誘導用ブロックの敷設を基本に、園内の施設や園路のバリアフリー化を進めます。



### その他のバリアフリー化事業計画

○生活関連施設に位置付けた市の公共施設については、施設の更新計画などにあわせ、高齢者や障害のある人が安心して利用できるよう、バリアフリー化に努めるとともに、重点整備地区内で建設される建築物については、バリアフリー新法や京都府福祉のまちづくり条例に基づき、助言や指導を行っていきます。また、黄檗宗大本山萬福寺については、文化財としての歴史遺産の継承と、少しでも多くの方に訪れてもらえるようなバリアフリー化との両立に努めていきます。

○生活関連経路上において、信号機を設置する場合は、周辺状況等を考慮しながら、原則音響装置を設置するものとし、また重点整備地区内のその他の信号機についても、出来る限りの整備を検討します。